

# 2022

# レース結果報告書

## 全日本選手権 第4戦 菅生大会



# DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

# 全日本選手権・レース結果

## Race

前戦の茂木大会でノーポイントに終わり、リベンジで臨んだ菅生大会でした。菅生は地元から距離はありますが事前テスト前からプライベートテストを敢行。2日間にわたる走り込みでアドバンテージを持って迎えた事前テストでも好調を維持して、二人はよい感触でレースウィークを迎えました。ウィーク初日は雨や中途半端な路面に力を出し切れない部分もありましたが公式予選では豊島が序盤からリーダーボード上位でチームを引っ張ります。谷本も徐々にタイムアップして二人がトップ10圏内で予選終了と思いましたが、終盤に豊島が他社の転倒に巻き込まれて転倒。赤旗後の再走行で逆転されてしまい豊島が6番手、谷本が11番手から決勝に臨むことになりました。そのレース結果をライダーのコメントと共にご報告致します。

タイトル：全日本選手権 第4戦 菅生大会（スポーツランド菅生）

開催日：2022年6月4-5日

観客動員：8000人（土日合計）

リザルト：#6 豊島 怜 予選6位 決勝リタイヤ

#24 谷本音虹郎 予選11位 決勝リタイヤ



# レース報告・豊島怜 #6

## Race

### 豊島怜コメント

今回、事前テストから常に3~4番手の表彰台圏内に付けることができましたが、今までかなりタイヤに対して負荷のかかるセッティングでレースをしていた為、ここから更に上のステージに行くために、レース後半に向けてタイヤの消耗を小さくするセッティングを見つけるというのがテーマでした。フロントのセッティングは良いところにアジャストすることができましたが、時間が足りずリアのセッティングはそのままとなりました。迎えたレースウィーク金曜日は雨の走行になり、試したいリアのセットを試すことができず、最後は霧で走行中止となってしまいました。

### 公式予選

35分間の予選では全日本初のフロントローを狙って挑みました。前半なかなかクリアラップを取れず、ペースの違うライダーをパスしながらトップタイムをマークすることができました。そしてその後、後半にもう1段階タイムを上げようとアタックしている最中にシケイン進入で目の前で転倒したライダーに巻き込まれ転倒し赤旗中断となりました。赤旗再開後はマシン修復が間に合わずコースインすることができず、3人のライダーに0.1秒以内のタイムを更新され6位で終わってしまいました。

### 決勝

15分間の朝フリーでは今後を見据えてタイヤを攻撃しないリアのセッティングにアジャストする為、大幅に変更しました。タイムはイマイチでしたが、ロングランを考えると方向性は間違いなくここだと思い、これを突き詰めていけば更に上のステージへ行けるとチームと確信しました。決勝はスタート後のホームストレート上の大事故により赤旗中断となり、午後にスケジュールを変更して再スタートされました。仕切り直されたレースでは、スタートで出遅れてポジションを落としてしまいましたが、抜き所の少ないSUGOで一台ずつパスしてポジションを戻した時にはトップ集団とは距離がありました。そこで一気にペースを上げてファステストを更新しながら追い上げてトップ集団に追いつくことができました。ここまでは自己最高のレースをしていましたが、追いついた所で2コーナーでフロントからスリップダウンをしてしまいました。今回のレースは2年ぶりの転倒リタイヤということで残念な結果に終わってしまいましたが、全体の内容を見ればドライであそこまで追いつける展開は1000ccで初めてだったので自信にもなりましたし、テストから常に表彰台が見える位置にいた事でチームと共にまた一歩前進できたと思います。間違いなくトップまであと一歩の所まで来ていると思います。ここまでこれたのも一重に日頃からサポートして頂いている皆様のおかげです。次戦は8/13,14のアジア選手権SUGOラウンドです。これから2ヶ月間チームと共にSUGOでのテストに集中していきますので、セッティングを突き詰め、アジア選手権、そして全日本後半戦で表彰台に登れるように準備をしていきたいと思っています。チーム関係者の皆様、並びにご協賛して頂いている各位スポンサーの皆様、誠にありがとうございました。

# レース報告・谷本音虹郎 #24

## Race

### 谷本音虹郎コメント

初めに自分の転倒により他のライダーを巻き込む事となってしまう、ご迷惑をお掛けしてしまったライダーやチーム関係者、大会運営スタッフの皆様、観戦されていた皆様、そして応援してくださった皆様、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。以後このようなことがないように努めてまいります。

レースウイークのご報告をさせていただきます。

事前テストで昨年のタイムを1秒以上更新して調子を上げていたので、レースウイークに更なるタイムアップを狙ってサーキットに入りました。しかし生憎金曜日の走行は1本目は走行前に雨が降りだしフルウェットでの走行になりました。トップとのタイム差はありましたが、徐々にペースを上げることができ、9位で終えることができました。2本目はドライで行けそうと準備していましたが、今度は霧が出てきてしまい走行キャンセルになりました。

### 公式予選

予選は天気も回復してドライコンディションで行われました。序盤でのタイムアップを狙い先頭でコースインしました。前に自分よりも少しタイムの速い選手が付き、良いポジションでタイムアタックに臨みます。1周目を終えてペースアップにも余裕でついて行けました。新品タイヤの皮むきも終わりいよいよタイム更新に向けて本格的なタイムアタックを開始しますが、最終コーナーでなぜかマシンが一瞬減速してしまい、急遽ピットイン。原因は不明なまま再びコースに戻りタイムアタックを始めました。不具合は再発しませんでした。なかなかクリアラップを作ることが出来ず、ペースを上げることが出来ないまま11番手タイムで予選を終えました。

### 決勝

まずまずのスタートで1列前の集団に追いつき、さらにチームメイトの豊島選手も抜いて1周目に9位まで追い上げることが出来ましたが、6番手争いの前の集団も近づいていたので上位入賞に向け1周目を通過しようとしたのですが、ホームストレートの坂を上り切ったところでマシンがウイリーしてしまいました。マシンの動きに対して反応が遅れてしまい、そのままひっくり返ってしまい転倒してしまいました。幸い自分は大きな怪我はなかったので次戦に向けて、より気を引き締めて準備していきます。スポンサーの皆様、チームスタッフ、応援してくださった皆様、沢山のご支援ありがとうございました。次戦も全力で頑張りますので応援よろしく願いいたします。

# 監督コメント

## Ofisyaru Comment

先ずは谷本選手の転倒により、他のライダーを巻き込も事となり、負傷されましたライダーや関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。また赤旗によりレース運営に支障をきたす結果となりました事、参加者の皆様、運営スタッフ、そして観戦に訪れた皆様に心よりお詫び申し上げます。

幸いなことに谷本は大きな怪我も無く当日無事に帰宅する事が出来ました。今回のミスを繰り返さぬようしっかりと精神を鍛えなおして今後のレースに生かすよう指導を徹底して参ります。

再レースとなった豊島も、スタート後の遅れを挽回するために、抜きどころの少ない菅生で序盤にポジションを回復して見せましたが、トップ集団に追いついたところでフロントが切れ込み2コーナーで転倒リタイヤとなってしまいました。

今大会も結果を残すことが出来ませんでした。レースウィークや決勝で見せた走りは上位陣と戦えるレベルへの成長を感じるものでした。まだまだ未熟で成長の階段を上ってゆく途中ですが諦めることなく前進してゆきたいと思えます。

次戦は全日本選手権第5戦のオートポリス大会の前にアジア選手権・菅生大会にスポット参戦を予定しております。引き続き若い二人に、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

代表 室井秀明

# スポンサー



有限会社ライフサポート



竹中興運



E.P.S



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2022年も頑張ります！



# ギャラリー

## Gallery

